

# 岩崎酒店 糰屋便り

2015年1月号  
NO.4

発行者：岩崎酒店 川崎市高津区溝口 3-11-15 TEL：044-822-2027 営業時間：10～20時  
定休日：毎週火、毎月第2・3月曜 <http://www.mmjp.or.jp/kouji-ya/>

いつも当店をご利用頂きありがとうございます。長期予報では暖冬と言われた今年の冬ですが、12月に入ってから寒波が到来して各地で大雪になっています。今春の山梨県と同様に人口減少と高齢化が進んで過疎となった山間集落の孤立が問題になっていますが、都市でも高齢者の一人暮らしなど本質的には同じ問題を抱えていると思います。大雪などの極端現象時には都市部で暮らす社会的弱者の人も孤立するのは避けられないでしょう。

さて、今年もいよいよ師走に入ってから来ましたが、突然の解散、選挙。統制されているような大手メディア均一的な報道だけを頼りに、繰り返される呪文のような与党の政策に洗脳されたまま投票。投票率の低さも手伝って、得票数だけみればとても信任されたとは言えないものの、結果は与党の大勝利となりました。今回も野党が国の緊急事態を本気で憂い、長いスパンで考えられずに結集することなく足並みが揃わなかった事が大きな原因の一つと言えます。準備期間が短かったとはいえ、とても残念な事です。与党自民党を常に脅かす勢力ができない限り、これからも国と言う生き物に蔓延る病巣に誰もメスを入れられず、日々の健康チェックすらもままならないまま、病は悪化の一途を辿りそうです。

しかし同時に、私たち国民にも大きな原因がありそうです。それは政治に対する無関心です。多少の関心はあっても、責任の多くを政治家に押し付けて、自分たちが行動しなくてはならない身近な問題にすら目を向けないまま日々を過ごしている。選挙にすら行かない人が増えているのも大きな問題です。小さな頃からもっと政治への関心を増やすべく教育改革などが必要と感じますが…。

それにしても今回は何の為に選挙をしたのでしょうか？個人的には投票をした実感は残っていませんし、世の中には冷めた空気が流れていると感じます。国が実質財政破綻とい

う中で、700億近くと言われる費用を使ってまで選挙をする意味は全く無かったと思います。もし某かの信を問う理由があったとすれば、同じくアベノミクス（当時はこの言葉はなかったと思いますが）をこれから進めるか否かを問うた前回の選挙はいったいなんだったのか。衆議院任期4年は形骸化し、大義名分など無くても自己都合ですぐに解散。国が実質財政破綻している状況でも、ゲーム感覚で自己保身の為に行う今回のような選挙に、多くの国民が身を削って納めた多額の税金を費やした事に納得できる合理的な理由は私には全く見当たりません。

もちろん多くの政治家の皆さんはこの国を良くしたいと思って一生懸命仕事をしているはずですが。その中には、自らの危険を顧みずに様々な難題に切り込んでいる人や、野党の中でもくだらない粗探しや反対ばかりしないで、本題の議論を真っ向から真摯に行い、国の為にきちんとした仕事をしている人もいます。そんな政治家の人には（誰がどう評価するかは別にして）選挙無しに10年ぐらいはしっかりと仕事をさせてあげてもいいし、給料をもっとあげるべきだと思います。その為には我々国民も自らの利を捨て、本気で政治家を選ばなくてはならないでしょう。

国の借金が1000兆円を超えています。それでも税収を大きく上回る支出をしています。票目的に景気対策だと言って無駄な公共事業、先の無い事業に補助金などと言って血税をバラ撒いています。各省庁は利権や自分達の身を守る為、予算を確保するのに必死です。膨らむ一方の国家予算。こんな事でどうして国がよくなりましょうか。あれだけ優秀な人達が集まって何をしているのでしょうか。もう国が破綻するのを待つ以外にないのでしょうか。我々が今できる事は選挙で取捨選択をする事しかないと感じている今日この頃です。

今回もお読み頂き有り難うございました。